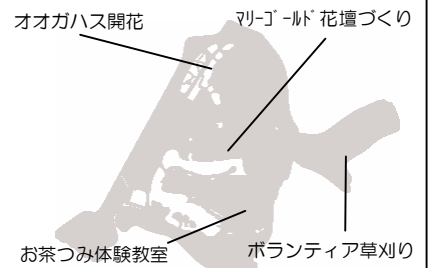


古河総合公園だより

発行日：2001年6月10日 編集：古河総合公園パークマスター 発行者：(財)古河市公園緑地振興協会
住所：〒306-8601古河市長谷町38-18 E-mail：sogoko@city.koga.ibaraki.jp



6月12日 (火)

北エリア蓮池

オオガハス開花!

昭和50年4月に千葉市より2本のハス根を頂いたのが始まりです。今では3000m²の水面を咲き覆う程に増えました。



▲今年の開花一番 (撮影日6月12日)

昭和26年、千葉県検見川で約2000年前の地層から古ハスの実3個が発掘され、内1個の発芽に成功。発掘にあたった大賀一郎博士の名にちなみ「大賀蓮」と命名。

オオガハスの開花についてちょっとご説明。

開花は6月下旬から9月上旬。ツボミは水面に出て約20日で開花。開花には18度以上の気温が必要。また、花卉に光を感知する酵素があり、その作用で花卉が開閉するようです。開花期間は4日間。その経過は次のとおりです。

1日目…早朝4~5時頃から開き始め、トックリ型に開き、8時頃には閉じ始めます。

2日目…深夜1時頃から開き始め、朝7~9時頃にオワン型に満開、花容が最も優美になります。また、香りが強まり昆虫が集まって受粉します。正午頃には完全に閉じます。

3日目…夜1時頃から開き始め、9~10時に完全に開ききり、花の開き具合は最大になります。昼頃に閉じ始め、半開の状態です。花色もややあせてきます。

4日目…午前中に散り始めます。

参考文献「魅惑の花蓮」(発行：(社)日本公園緑地協会)



6月4日 (月)

管理棟北側園路沿い

古河くらしの会 マリーゴールド花壇づくり

夏のお客様をマリーゴールドがお出迎え。古河くらしの会の皆さんが、丹精込めて育てた苗約500株を植栽。炎天下の花壇づくり、どうもありがとうございました。



▲「マリーゴールドの花言葉は“思いやり”。お花がたくさん咲くように見守って下さいネ！」会員より

◆古河総合公園 花ファイル NO.7◆

●ハナショウブ●

[科名] アヤメ科

[葉] 葉は直立し剣状。葉脈が隆起

[花] 花色は、紫、藤、紅紫、白、ピンク、さらにこれらの絞り、ぼかし、覆輪、班、筋、半八重、八重など

[花期] 6月

江戸中期に園芸化が始まり、江戸系、肥後系、伊勢系等の品種がある。江戸系は庭園用に、肥後系と伊勢系は鉢物用に育成される。総合公園では江戸系が主流。





5月12日(土)

お茶畑・民家園

ふるさと再発見 お茶つみ体験教室

166名の参加。「ふるさとの新茶」の味はいかがでしたか?

収穫の終わった茶畑では、害虫(チャドクガ)駆除の薬剤散布と今年2回目の台切り(整枝剪定)も済み、2番茶を待つ時期を迎えています。



▲お茶つみ体験「つんでいるうちに夢中になってしまいました」「新芽の柔らかさやつみたての香りなど、とても貴重な体験ができました」



▲手もみ茶「手にチクチク、あったかくて、良い香り」「自分の手でやってみて、なるほどと感心しました」



▲5月18日、茶娘さんなどで大活躍だった古河二高JRCの皆さんと反省会。「地元の人と沢山話ができました。小さい子とも遊べて楽しかった。」



5月13日(日)

パークフロント地区ラベンダー花壇

ありがとう! ボランティア草刈り

毎年恒例、70名ほどの天理教東分教会の皆さんによる草刈。約2時間で花穂を出し始めたラベンダー花壇の周りをとってきれいにさせていただきました。



▲昨年、ハーブ友の会のみなさんが植えて下さった約300株のラベンダー(品種グロッソ)の見頃は6月中旬。サッパリとした良い香りがします。



☆投稿第1弾☆

古河総合公園で見られる鳥 キジバト

古河総合公園では、桃の木の下で餌をとっている姿を多く見かけます。2羽でいることが多く、「つがい」と考えて良いようです。巣は木の枝に簡単につくり2個の卵を生みます。近頃は街中に巣を作ることが多く、カラスの害を防ぐためだろろうと考えられています。園内での繁殖はどうでしょうか?



▲雉(キジ)に似た模様であることから名づけられた。全体的にブドウ色で羽の模様ははっきりしており、一年中みられる。神社で見かけるドバト(名前の由来は、堂のハト)とは別の種類。

投稿 小松崎清さん(市内在住、日本野鳥の会会員)

◆投稿 お待ちしております◆

古河総合公園だよりは、「読者参加型」のニュースレターです。公園で出会った面白情報、みなさんに伝えたい素敵な情報等、ドシドシお寄せ下さい。

〒306-8601 古河市長谷町 38-18 (財)古河市公園緑地振興協会「古河総合公園パークマスター」